

▼エミレース錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】ネモナブリド Nemonapride 【分類】抗精神病剤 [ベンズアミド系]

【単位】▼3mg・▼10mg/錠

【常用量】9～36mg/日 [最大 60mg/日]

【用法】食後に分割投与

【透析患者への投与方法】尿中排泄率が低く、おそらく減量の必要はない (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】尿中排泄率が低く、おそらく減量の必要はない (5)

【特徴】ドパミン D2 受容体の選択的遮断作用を有するベンズアミド系抗精神病薬。鎮静作用はマイルドで、幻覚・妄想などの異常体験に対して効果が高い。

【主な副作用・毒性】悪性症候群、無顆粒球症、錐体外路症状、肝機能障害、静脈血栓症、パーキンソン症候群、不眠、不安、傾眠、過剰鎮静、興奮、痙攣発作、口渇、消化器症状、月経異常、乳汁分泌、血圧変動、徐脈、心悸亢進、貧血など。自動車の運転等危険を伴う機械の操作に從事させない。

【F】資料なし (1) 吸収率が高いが初回通過効果を受けて F は低い [サル] (1)

【tmax】2～3hr (1)

【代謝】N-脱メチル化、脱ベンジル化、α酸化により代謝 (1) 代謝には CYP3A4 が関与 (1) 代謝物の活性はほとんどないが弱い (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 0% (1) 尿中回収率 14.9% [po, 24hr まで] (1)

【CL】資料なし (1)

【t1/2】3～4hr (1)

【蛋白結合率】92.8～94.6% (1)

【Vd】資料なし (1)

【MW】387.91

【透析性】資料なし (1)

【O/W 係数】LogD=3.20 [1-オクタノール/水系, pH 7.0] (1)

【TDM のポイント】治療域は広く、効果と血中濃度の関係は U-shape (Kondo T, et al: J Clin Psychopharmacol 20: 404-9, 2000)

【相互作用】中枢神経抑制剤と併用注意 (1)

【備考】セロトニン受容体にも親和性があるが、D2 受容体より 80 倍弱い (伊藤 勇一郎: ファルマシア 27: 1033, 1991)

【更新日】20230417

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。